

# 商いの新しいものさし

(株)商い創造研究所  
代表取締役

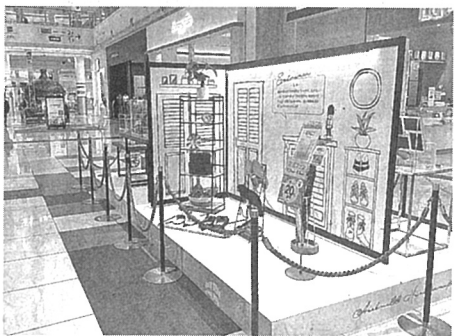
松本 大地

第160回

## 神は細部に宿っていたイオンモール広島府中

成熟期を迎えたショッピングセンター(SC)、本連載でも言い続けているのが「SCのアップスケール化」である。既存施設は量の拡大ではなく、質の拡大を続け、顧客の潜在欲求に応える新業態やサービスを導入する「SCのアップスケール化」が生命線になる。

「SCのスケールアップ



シーンメイクの演出でワクワクさせる共用部

化」は増床して施設の量の拡大をすることであり、昨今ではアウトレットモール以外は目にする

ことが少なくなってきた。アップスケール化は、卵からさなぎに、そして羽根を付けて飛び立っていくように経年とともに質を伴って成長を続けていくことであり、施設運営には欠かせないのでき

なく、施設名称が「イオンモール広島府中」と変わり20年ぶりに訪れたが、初めて訪れたSCと勘違いをしてしまったほどアップスケール化していた。広島駅から車で10分という良好なアクセスに恵まれた立地特性も奏功し、16年に増床したスケールアップ化も魅力を広げ、延べ床面積約25万6000㎡、総賃貸面積約9万8000㎡、店舗数約280店、駐車場台数約5000台という中

にキリンビール広島工場跡地の再開発事業として、敷地面積約12万6000㎡の土地に誕生した「ダイマモンドシティ・ソレイユ」。

開業当時はさほどの印象が

は、3階のペットゾーンとキッズゾーン、フードパークと子どもの遊び場がダイナミックに溶け合っているものになってきたことだ。ペット同伴可能エレベーターが設置され、大型のペット用品売り場、子犬や子猫などのペット販売店、ドリンクを飲みながらネコたちと癒しの時間を過ごせる「Cat Cafe M

「時間があり、また広島府中に来てしまった。何度でも家族で訪れる暮らしの場所」と話してくれたのも腑に落ちた。

20年の歳月を経てアップスケール化に成功したポイントは、細かいシーンメイクにこだわったことだろう。例えばトイレの入り口付近に設けられた待ち合いスペースにも、イス、植栽と壁に絵を飾る心づかい。通路の様々なVP(ビジュアルプレゼンテーション)手法によるシーズンディスプレイの連続展開では、お客様を喜ばせたいという一点の「思い」が伝わってきた。VPは店舗の外からコンセプトやテーマを訴求することで入店を誘う重要なポイントとなり、多くの場所で買

感動させるほど美味しく、もう一方は普通だったりする。その結果、普通のSC運営か、繁栄するSC運営かを決してしま。 「心づかい」や「思い」はAIやロボットでは代替することはできない。広島府中は細部にもこだわる思いがあるからこそアップスケール化につながり、繁栄を続けていると言えよう。

さらにイオンリテールのペビー・キッズの大型専門店「キッズリパブリック」が隣接し、子ども連れを想定した居心地の良いフードパーク、アミューズメント、トイザラス、ベビーザラスと子育てファミリーにフォーカスした場づくりの連続性と編集力は圧巻だった。広島市内在住の知人は

「神は細部に宿る」と強く心に感じた。同じ設えであっても、一方は人を

多くのSCは20年経過すれば経年劣化は避けられないが、運営への「思い」から手入れが行き届いた現場からは、「神は細部に宿る」と強く心に感じた。同じ設えであっても、一方は人を

多くのSCは20年経過すれば経年劣化は避けられないが、運営への「思い」から手入れが行き届いた現場からは、「神は細部に宿る」と強く心に感じた。同じ設えであっても、一方は人を

多くのSCは20年経過すれば経年劣化は避けられないが、運営への「思い」から手入れが行き届いた現場からは、「神は細部に宿る」と強く心に感じた。同じ設えであっても、一方は人を

多くのSCは20年経過すれば経年劣化は避けられないが、運営への「思い」から手入れが行き届いた現場からは、「神は細部に宿る」と強く心に感じた。同じ設えであっても、一方は人を